



 $\frac{10}{10}$ $\frac{1}{10}$ $\frac{1}{10$

東京理科大学 近代科学資料館 [2F] 多目的室 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3 tel.03-5228-8224(開館時間のみ)



神楽坂 *まち飛びフェスタ* 2025



東京理科大学 創設者シリーズ 第3弾 工学者を育成し、 京都の近代化と地域振興に寄与した

京理科大学の前身である東京物理学校の創設者21人を紹介する シリーズ第3弾は、京都帝国大学理工科大学長 難波正、京都帝国 大学理工科大学教授 三輪桓一郎、さらに第三高等学校教授 玉名程三の 3人に焦点を当てます。彼らの東京大学理学部物理学科(仏語)を卒業して からのあゆみをたどり、京都大学及び京都市の発展に寄与した研究業績や 教育者としての人物像を紹介します。

難波正

1859年-1920年 岡山県士族

文部省官費留学生として渡仏し、東京大学、第二高 等中学校を経て1898年京都帝国大学理工科大学 教授 第2講座(電気機器)担任となる。1912年京 都帝国大学理工科大学長となり、京都市電気軌道 事務所顧問、第7代電気学会会長を務めた。

三輪 桓一郎

1861年-1920年 東京府平民

東京大学助教授となり、1887年から学習院教授と 帝国大学理科大学助教授を兼任した。1900年京都 帝国大学理工科大学教授となり1904年には万国 数学者会議に出席し、1913年の澤柳事件まで数学 を教授した。1914年から東京物理学校主事となる。

玉名 程三(旧姓 名村)

1861年-1937年 長崎県士族

宮城県中学校、東京外国語学校、第一高等中学 校、鹿児島高等中学造士館、第二高等学校へ赴任 し、1900年から1911年まで第三高等学校教授、 教務主任となる。



難波正ら理工科大学創設のため 欧米に留学の教官達 中央が難波 1897年頃ベルリンにて〈京都大学大学文書館 所蔵〉



[Verhandlungen Des Dritten Internationalen Mathematikerkongresses in Heidelberg : Vom 8. Bis 13. August 1904

三輪桓一郎が出席した万国数学者会議の報告書 〈東京理科大学図書館 所蔵〉



玉名程三が晩年研究し書いた易学書 「四易方位考」全

間 2025年10月1日(水)~12月12日(金) 期

水・木・金 12:00~16:00/土 10:00~16:00

日曜・月曜・火曜・祝日

入館無料

場 所 東京理科大学 近代科学資料館 2F多目的室

所 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3 住

T L 03-5228-8224 (開館時間のみ)

催 東京理科大学 近代科学資料館 主

展示協力 霞会館記念学習院ミュージアム(学習院大学史料館)/学習院アーカイブズ 関西電力株式会社/北野天満宮

京都大学大学文書館/東北大学史料館

博物館 明治村/琵琶湖疏水記念館(京都市上下水道局)

Ⅲ. 三輪桓一郎 Ⅱ. 難波正 1.代数学と幾何学の関係 1.電気実験の機器 2.琵琶湖疏水発電 2.万国数学者会議 3.祇園祭と市電 3.澤柳事件 京都へ赴くまでの I. 3人の歩み 出入口 Ⅳ. 玉名程三 1.原子運動について 2.第三高等学校 3 晩年の易学研究と北野天満宮



関連トークイベント



10月25日(土) 「京都電気鉄道からLRTまで」

14:00~15:00

講師 持永 芳文 津田電気計器株式会社 技術顧問電気学会フェロー/元東京理科大学理工学部講師

「澤柳事件の一人となった三輪桓一郎」 11月8日(土) 14:00~15:00 講師 神野 潔 東京理科大学教養教育研究院 教授

11月29日(土)「数学と易学 玉名程三の足跡」

講師 伊藤 稔 東京理科大学教育支援機構理数教育研究センター 嘱託教授東京理科大学近代科学資料館館長

事前申し込み・詳細は当館HPへ

<右記は開館しています>11月22日(土)・23日(日・祝)「理 大 祭」



「JR 飯田橋駅」西口 徒歩4分 「地下鉄飯田橋駅」B3出口 徒歩3分



